

APPEAL

発行者
JR 東海労関西地本
大阪台車検査車両所分会
2013年 7月19日
NO.36

原発再稼働反対！！

核のゴミは捨てることも処分も出来ない！！

安倍首相は「経済を安定させるためにも、安全性が確認出来た原発から稼働させることが必要」と言っています。

しかし、核のゴミとよばれている原発を動かすために使う使用済み核燃料は何万年にもわたり厳重な安全管理が求められます。

青森県の六ヶ所村にあるような再処理工場で処理をすれば良いと思いがちですが、現在、六ヶ所村の再処理工場は1993年に出来て以降、何度も放射線漏れ事故を起こし、周辺に住む住民は、そのたびに放射能の恐怖にさらされています。

いったい再処理工場とはどういうものなのでしょうか？

再処理工場というのは、原発に使用された核燃料の中からプルトニウム、ウランを取り出す施設です。

プルトニウムは燃料の再利用として使用されます。

残りの死の灰の部分は、集められガラスと一緒に混ぜられ、高濃度の核のゴミとして地中に埋められます。

しかし、この高濃度の核のゴミは人が近づけば即死してしまうくらいの放射線を発しています。

たとえ、地中に埋めたとしても、いつ何時、地震によってむき出しになるか分かりません。

再処理工場では、原発が1年間で排出する放射線をたった1日で排出するのです。

たとえ、再処理工場が事故もなく動いたとしても、このような状況では周辺地域への影響は計り知れないものになっていると言えます。

原発を再稼働させるということは、捨てるに捨てれない核のゴミを増やし続けることを意味します。

核のゴミを捨てることも出来ない、処分のあてもない、これでは結局、最後に泣くのは原発や再処理工場の周辺の住民です。

原発再稼働に反対の声を上げて行きましょう！！